

認知症徘徊模擬訓練

【何を】	<p>認知症徘徊見守り模擬訓練を実施する</p> <p>➡ 認知症の人が徘徊により所在不明になった場合を想定し、関係機関や地域住民の参加による認知症徘徊見守り模擬訓練を実施する。この訓練を通じて、みんなで助け合えるまちづくりについて一緒に考えていく。</p>
【誰が】	<ul style="list-style-type: none"> ・主催：車尾地区防災安全推進協議会 ・協力機関：米子市（長寿社会課, 防災安全課, 地域包括支援センター）警察署
【どこで】	<ul style="list-style-type: none"> ・本会場（車尾公民館） ・搜索エリア；Aブロック（中島, 車尾5区, 6区, 7区） Bブロック（車尾2区, 3区, 4区） Cブロック（日野川周辺） ・徘徊者役行動範囲（JR山陰本線より北側）
【いつからいつまで】	<p>10月18日（日）13：00 ～ 16：00</p>
【どんな様子】	<p>「認知症徘徊模擬訓練」が10月18日（日）午後、地区の自治連合会、消防団等100名以上の住民で行われました。また、市役所、地域包括支援センター、米子警察署、YMCA医療福祉専門学校生の協力も得て、大規模なものになりました。</p> <p>徘徊役を住民3名設定し、車尾地内3か所に搜索範囲を設けてそれぞれに搜索班（3～5人編成）を振り分けて合計22班の展開が、快晴に恵まれ順調にできました。また、消防団は日野川の河川敷で人が倒れている想定で、あらかじめ人形を置いて搜索活動を行いました。</p> <p>3名の搜索は、20分前後で発見できましたが、日野川は、40分くらいで発見されました。</p> <p>徘徊役からは「搜索放送で流れた行方不明者の服装が、実際とは少し違ったので、正確な情報の提供が求められる。」「徘徊する人に出会ったとき、声をかけることが難しいようだ。」などの意見がありました。</p>
【面白さや楽しみ】	